

# 長岡工業高等専門学校 AIR Tech エンジニア育成プログラムに関する規程

令和 3 年 3 月 24 日 制 定

令和 6 年 12 月 18 日 一部改正

(趣旨)

**第 1 条** この規程は、長岡工業高等専門学校（以下「本校」という。）における AIR Tech エンジニア育成プログラム（以下「本プログラム」という。）の実施に関し、必要な事項を定める。

(教育目的)

**第 2 条** 今後の新産業創出では空気のごとく必須となる AI・IoT・RT（ロボット技術）を本校において AIR Tech と命名する。本校では、AIR Tech を身に付けた人材の育成を目的として、「デジタルネイティブ世代へのリテラシー教育」から「分野横断型チームによる社会実装プロジェクトを通じたエキスパートの育成」までの一貫した全学的プログラムを実施する。

2 AIR Tech におけるリテラシーを、数理・データサイエンス・AI の基礎的素養とする。

3 AIR Tech におけるベーシックを、数理・データサイエンス・AI の応用基礎レベルの知識・技術とする。

(履修対象者)

**第 3 条** 本プログラムは、本校の学科に在籍する学生（以下「学生」という。）を対象とする。

(履修方法)

**第 4 条** 本プログラムは、授業科目の履修に係る通常の登録手続きの他に、特別の手続きを必要としない。

(授業科目及び単位数)

**第 5 条** 本プログラムを構成する授業科目及び単位数は、別表 1 から別表 3 までのとおりとする。

(修了要件)

**第 6 条** 本プログラムに、次の各号のコースを設ける。

- 一 リテラシーコース
- 二 ベーシックコース
- 三 ベーシックコースプラス

2 本プログラムにおける前項各号のコースの修了要件は、前条に定める授業科目を全て修得することとする。ただし、ベーシックコースプラスの修了要件は、ベーシックコースの修了要件として定める別表 2 の授業科目を全て修得した上で、別表 3 に定める授業科目を修得することとする。

(修了認定)

**第 7 条** 本プログラムの修了認定は、教員会議の議を経て、校長が行う。

(修了証の交付)

**第 8 条** 第 6 条第 2 項の修了要件を満たした学生に修了証を交付する。

- 2 修了証は、別記様式第 1 号から第 3 号までのとおりとする。
- 3 修了証は、卒業証書授与式の際に交付する。

(雑則)

**第 9 条** この規程に定めるもののほか、AIR Tech エンジニア育成プログラムの実施に関し必要な事項は、校長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、令和 3 年 3 月 24 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この規程は、平成 31 年度に学科第 1 学年に入学した者から適用し、平成 30 年度以前に入学した者及び平成 31 年度以降に転入学、編入学又は再入学により学科第 2 学年以上の学年に入学する者については、適用しない。

附 則

この規程は、令和 6 年 12 月 18 日から施行する。

別表 1（第 5 条関係）

AIR Tech エンジニア育成プログラムのリテラシーコースに関する対象科目

| 学科  | 対象科目   | 単位数 |
|-----|--------|-----|
| 全学科 | 基礎情報処理 | 2   |
|     | 確率     | 1   |
|     | 統計学    | 1   |

別表 2（第 5 条関係）

AIR Tech エンジニア育成プログラムのベーシックコースに関する対象科目

| 学科          | 対象科目       | 単位数 |
|-------------|------------|-----|
| 全学科         | 基礎情報処理     | 2   |
|             | 微分積分Ⅰ      | 2   |
|             | 微分積分Ⅱ      | 2   |
|             | 代数幾何       | 2   |
|             | 確率         | 1   |
|             | 統計学        | 1   |
|             | データ通信工学    | 2   |
| 機械工学科       | 情報処理       | 2   |
|             | 機械工学実験実習Ⅲ  | 3   |
| 電気電子システム工学科 | プログラミング    | 2   |
|             | ものづくり技術実習Ⅱ | 3   |
| 電子制御工学科     | 情報処理Ⅰ      | 2   |
|             | 電子制御工学実験Ⅱ  | 3   |
| 物質工学科       | 情報処理Ⅱ      | 1   |
|             | 物質工学実験※    | 2   |
| 環境都市工学科     | 情報処理Ⅰ      | 2   |

※物質工学科の教育課程で 4 年に配当する科目とする。

別表 3（第 5 条関係）

AIR Tech エンジニア育成プログラムのベーシックコースプラスに関する対象科目

| 学科  | 対象科目          | 単位数 |
|-----|---------------|-----|
| 全学科 | プログラム研究基礎セミナー | 2   |

第 号

修 了 証

氏名 ○ ○ ○ ○

生年月日 年 月 日生

上記の者は長岡工業高等専門学校において「AIR Tech エンジニア  
育成プログラム（リテラシーコース）」を修了したことを認める

（元号） 年 月 日

長岡工業高等専門学校長

○ ○ ○ ○ 印

第 号

修了証

氏名 ○ ○ ○ ○

生年月日 年 月 日生

上記の者は長岡工業高等専門学校において「AIR Tech エンジニア  
育成プログラム（ベーシックコース）」を修了したことを認める

（元号） 年 月 日

長岡工業高等専門学校長

○ ○ ○ ○ 印

第 号

## 修了証

氏名 ○ ○ ○ ○

生年月日 年 月 日生

上記の者は長岡工業高等専門学校において「AIR Tech エンジニア  
育成プログラム（ベーシックコースプラス）」を修了したことを認め  
る

（元号） 年 月 日

長岡工業高等専門学校長

○ ○ ○ ○ 印